



2024年1月期（40期） 決算説明資料

株式会社ACCESS（4813）

2024年3月

ACCESS™

©ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Agenda

1. 2024年1月期（40期）業績
2. 次期業績予想
3. 事業概況
4. Appendix

売上高 **16,573**百万円

前年同期比
+26.9%

営業損益 **▲105**百万円

前年同期比
+1,601百万円

- ・ 連結売上高は3期連続で25%超の成長
- ・ ネットワーク事業の黒字化を達成

01

2024年1月期（40期）業績

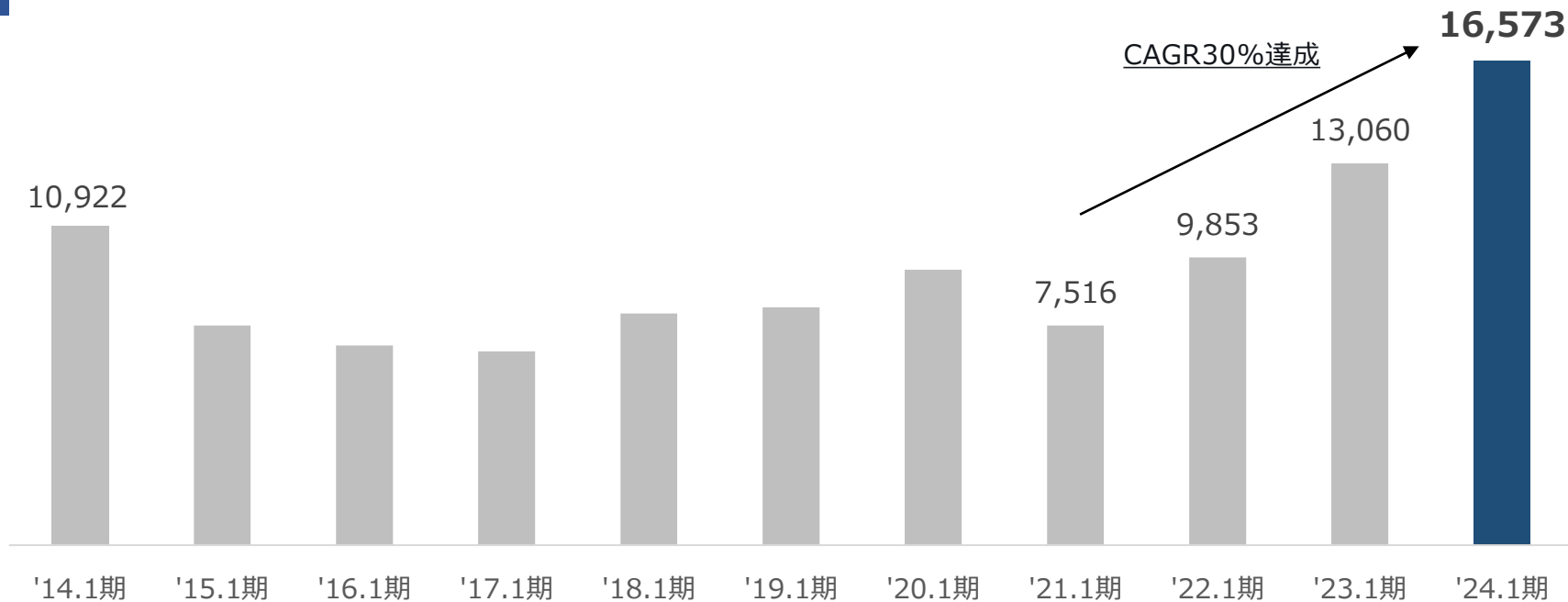
売上高、各段階利益ともに業績予想（修正値）を達成

(百万円)	2024年1月期 業績予想（修正値）	2024年1月期 実績	要因
売上高	16,000	16,573	
営業利益	▲350	▲105	
経常利益	▲200	▲12	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲550	▲280	法人税等調整額 ▲183
EBITDA*	(非開示)	3,126	

* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

ネットワーク事業が牽引しコロナ以降の4年でCAGR30%超

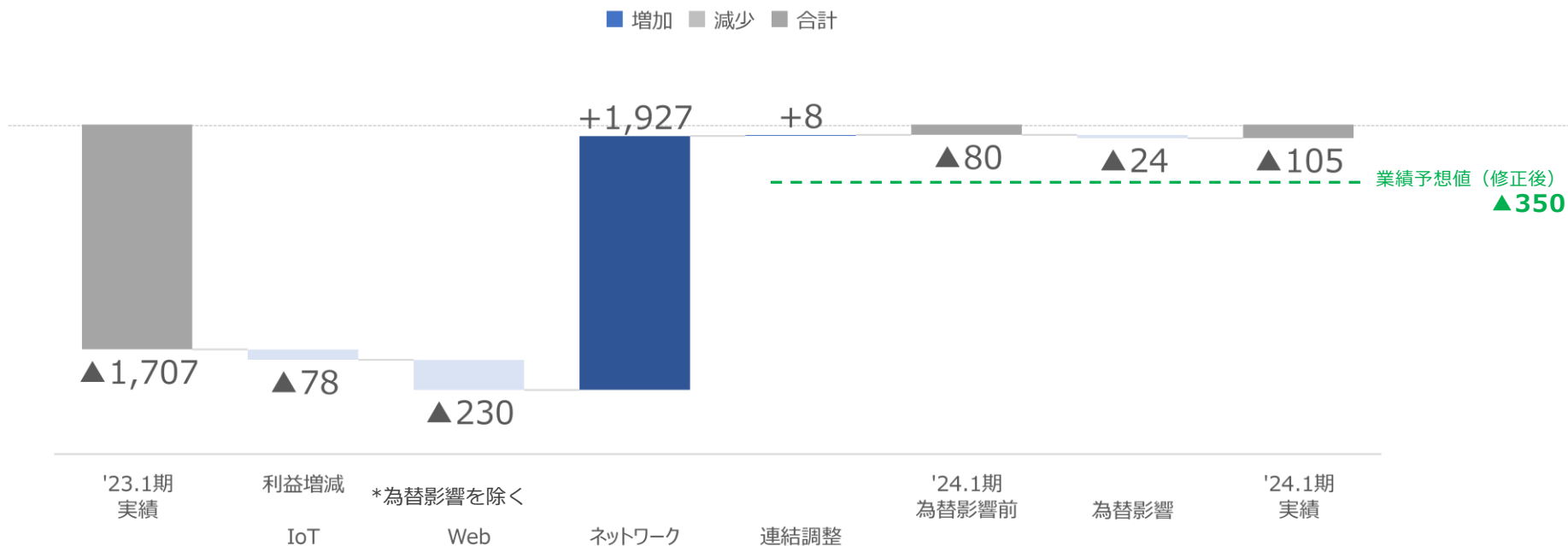
売上高（百万円）



ネットワーク事業が牽引し業績予想（修正値）を達成

（*業績予想値：営業利益▲350百万円）

営業利益（百万円）

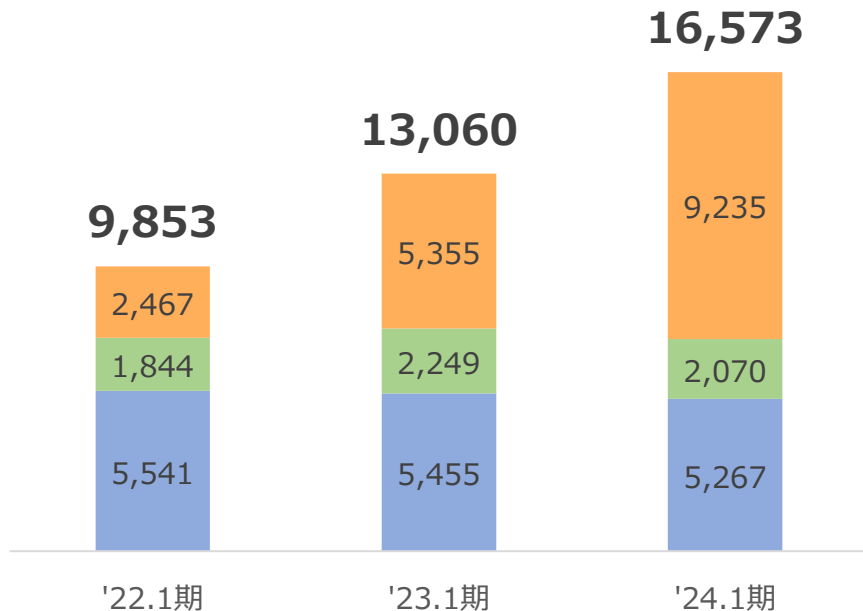


※期初業績予想値500百万円→23年12月修正業績予想値▲350百万円

ネットワーク事業の売上高が前期比1.7倍に成長

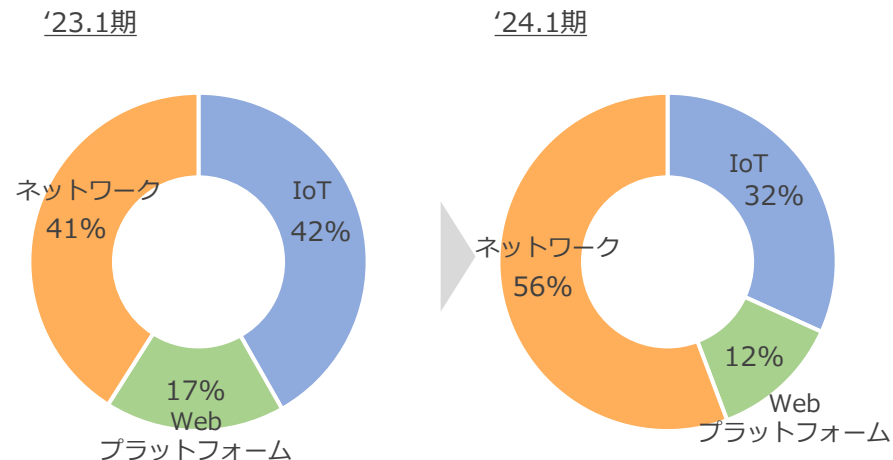
セグメント別売上高（百万円）

IoT Webプラットフォーム ネットワーク

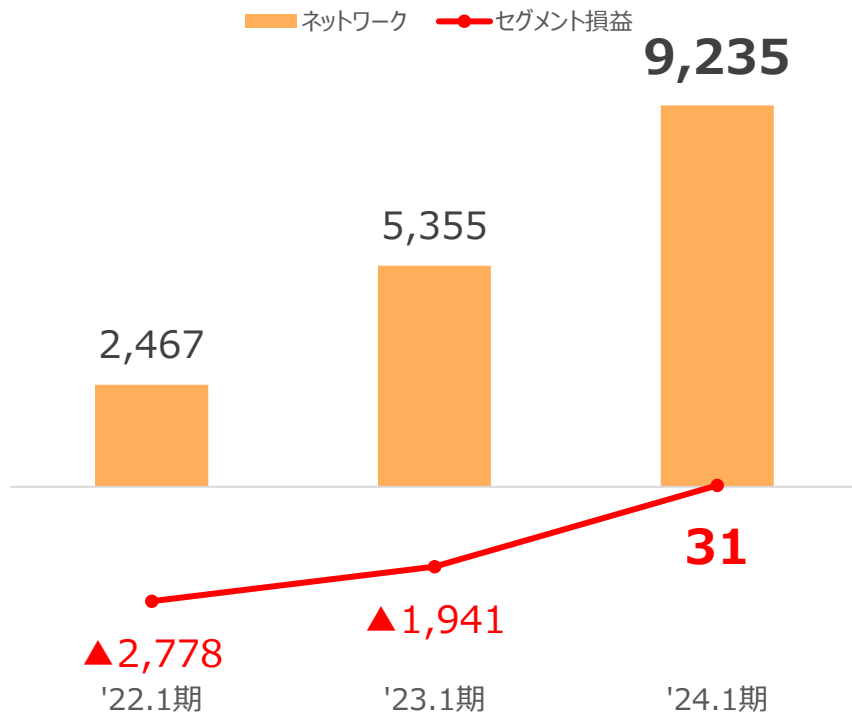


セグメント別売上構成（％）

ネットワーク事業の売上構成比が15pt増加



売上高・セグメント損益（百万円）

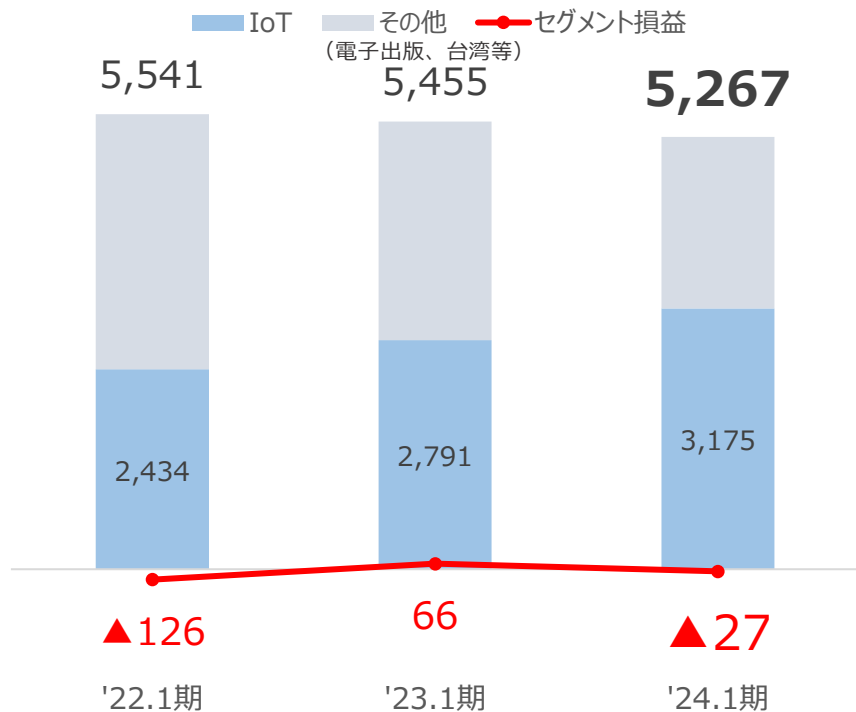


ホワイトボックス向けネットワークOS
「OcNOS[®]」の事業成長
前期に続き過去最高のセグメント売上高
及びセグメント黒字化を実現

ネットワーク事業

- ・ 90社超の新規顧客獲得及び主要顧客からの大型リピート注文も獲得し大きく売上・損益に貢献
- ・ Tier2/3の通信キャリア及びデータセンターに注力する戦略が奏功受注額、単価ともに順調に成長

売上高・セグメント損益（百万円）



売上は分野毎に増減があるものの、IoTプロフェッショナルサービスが堅調に推移

IoT分野

- ・ 主力のIoTプロフェッショナルサービス*の売上が安定成長し収益を下支え

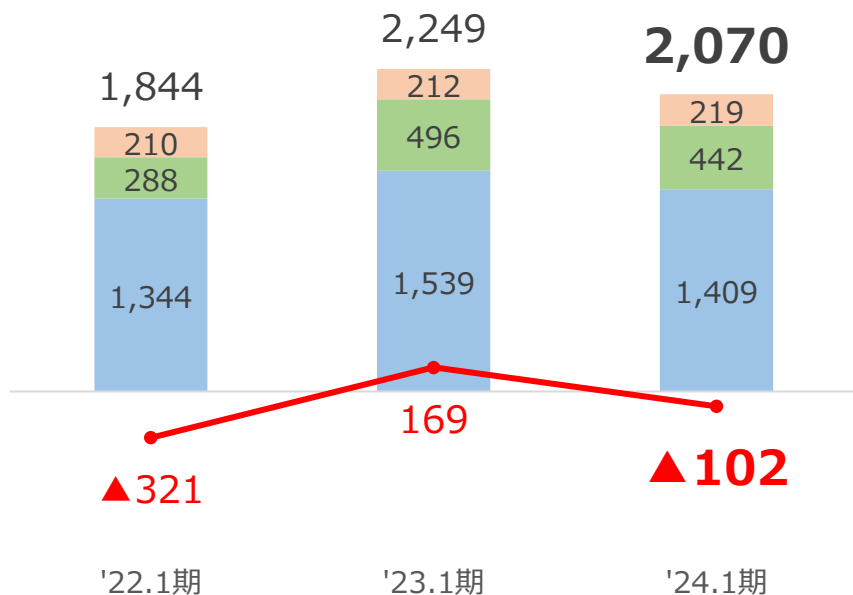
*オーダーメイドの開発案件

その他

- ・ 電子出版は売上高減少もあり分社化及び株式譲渡により事業分離
- ・ 台湾事業は売上回復が進まず翌期に向け事業運営構造を見直し中

売上高・セグメント損益（百万円）

■ 日本 ■ 欧州 ■ 韓・中 ● セグメント損益



市場の立ち上がりの遅れやコスト増もあり、前期比で減収減益

日本

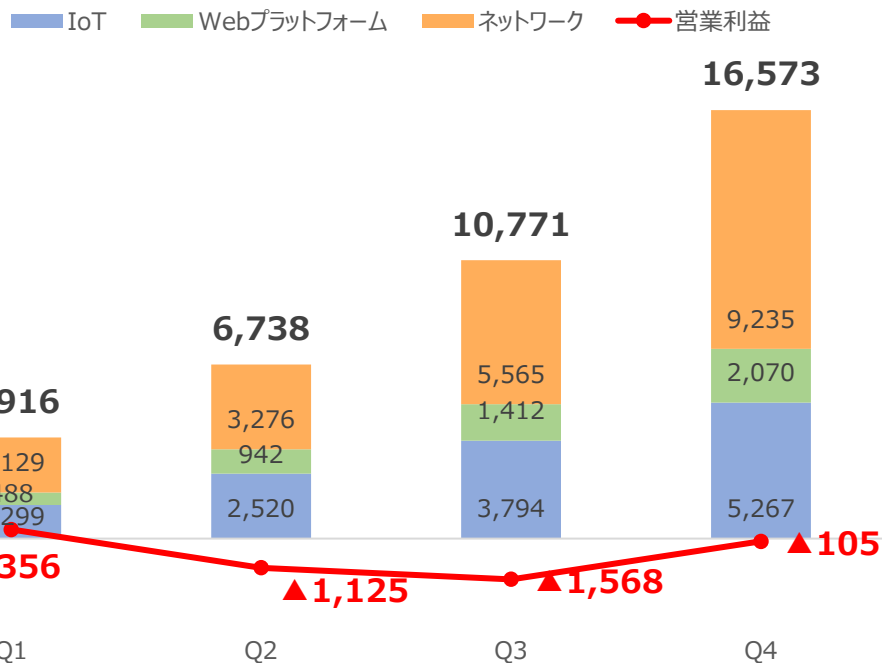
- ・TV、車載ともにブラウザを搭載した最終製品の出荷が堅調
- ・一部開発案件の中止や原価増もあり前期比減収減益

欧州

- ・車載エンターテインメントの案件が徐々に受注増加（Mediatek、長城汽車、小鹏汽車等）
- ・コスト見直しを含む拠点統合等の経営判断を実施

下期に全社的な経営判断および選択と集中を実施

24.1期売上高及び営業利益累計（百万円）



2024.1期

上期	NW	Q1:大型レポート案件前倒し受注の影響により四半期黒字化
	全社	Q2:上期売上高2012年1月期以降で過去最高を達成



下期	IoT	Q4:電子出版事業の一部を新設分割による株式譲渡を発表
	全社	Q4:NTTとの資本業務提携実施
	Web	Q4:欧州拠点の組織構造の最適化、事業拠点の統廃合を決定

資本業務提携の内容（2023年12月12日付適時開示より）

- ① これまでNTTが研究開発してきた技術とIP InfusionのネットワークOSの技術を活用し、ネットワークOS「Beluganos」に関する研究開発・商用化とグローバル市場での販売・サポートを強化していきます。
- ② NTTがこれまで培ってきたUI/UX 技術とACCESSのWeb Browser技術・IoT技術を活用し、IOWN 時代に必要とされるUI/UXを実現するための研究開発を推進していきます。

ご参考：

<https://www.access-company.com/products/dx-iot/iown/>

02

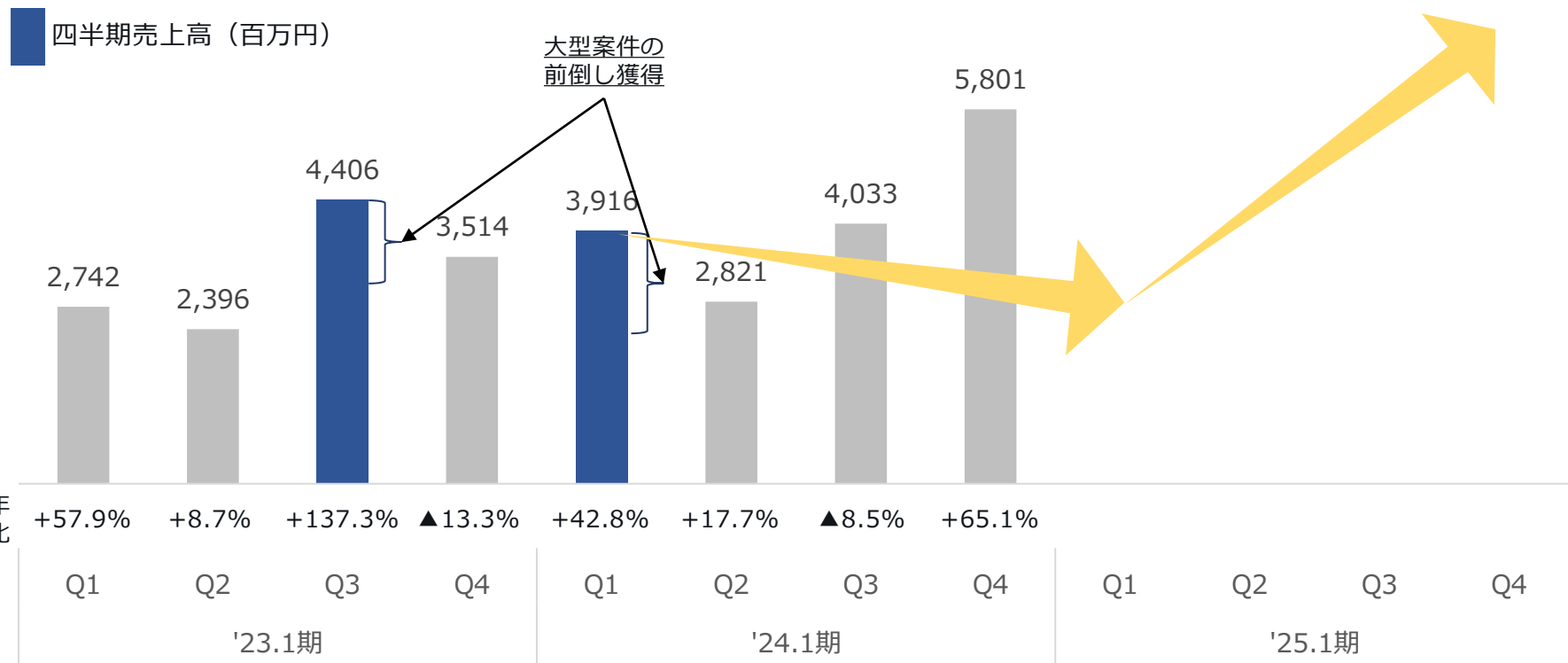
次期業績予想

引き続き売上成長を維持し、5期ぶりに黒字化

(百万円)	2024年1月期	2025年1月期	前期比
売上高	16,573	18,500	+1,926 / +11.6%
営業利益	▲105	500	+605 / —
経常利益	▲12	450	+462 / —
<small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	▲280	210	+490 / —
EBITDA*	3,126	4,300	+1,173 / +37.5%

* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

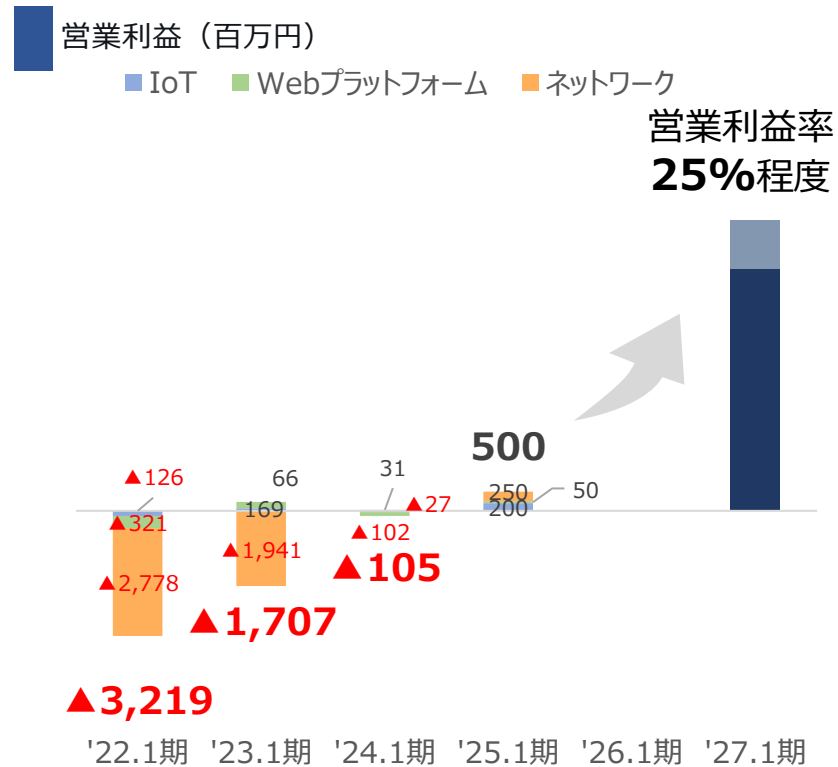
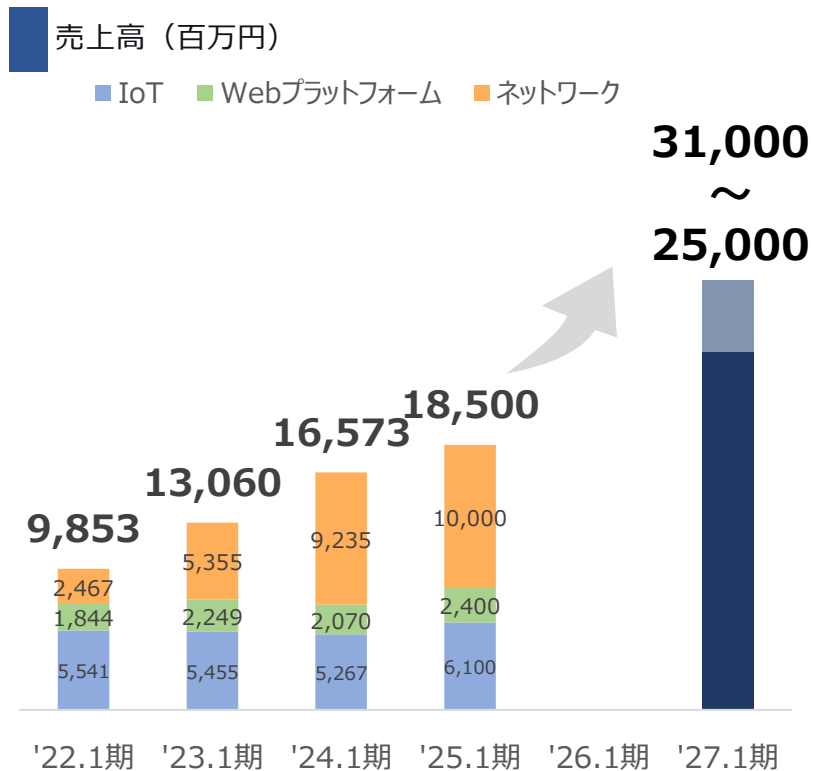
大型案件の影響もあり、四半期業績では売上の増減が生じやすい構造
 '25年1月期Q1も前年の反動で前期比減収を見込むが、通期では安定成長



全セグメントにおいて売上成長、黒字化を実現

(百万円)		2024年1月期	2025年1月期	前期比
ネットワーク 事業	売上高	9,235	10,000	+764 / +8.3%
	セグメント利益	31	250	+218 / +690.3%
IoT事業	売上高	5,267	6,100	+832 / +15.8%
	セグメント利益	▲27	200	+227 / -
Web プラットフォーム 事業	売上高	2,070	2,400	+329 / +15.9%
	セグメント利益	▲102	50	+152 / -

引き続き、2027年1月期目標数値の達成に向け推進 売上高：250億～310億円 営業利益率：25%程度



03

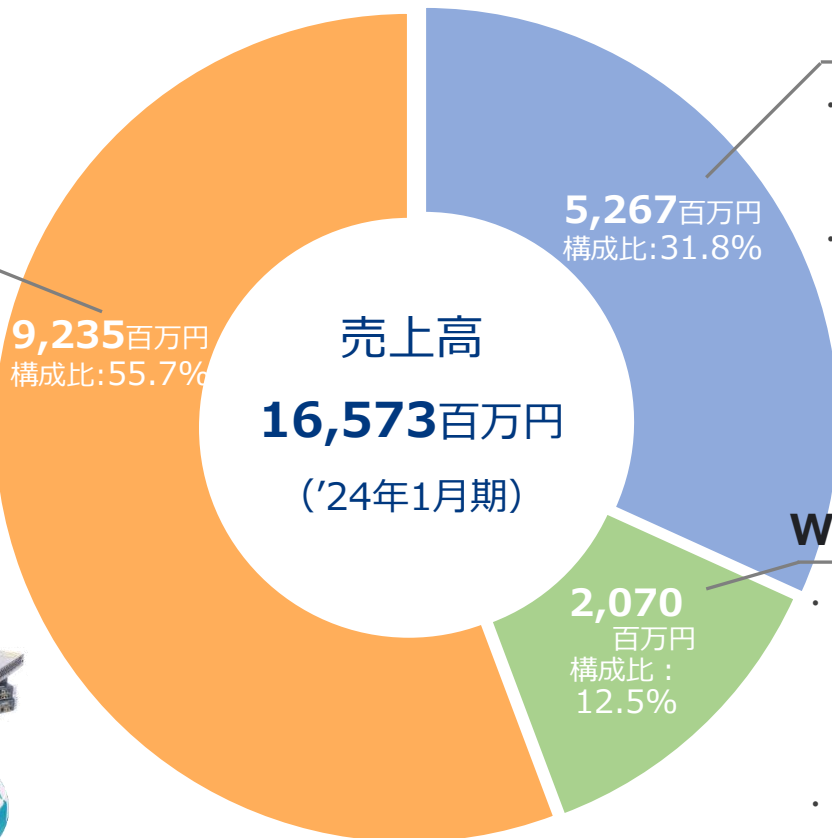
事業概況

ネットワーク事業

- ・ ネットワークスイッチ*向けのソフトウェア提供から事業スタート
*ネットワーク間の通信を行うための機器
- ・ キャリア品質のソフトウェアを提供する技術力と実績に強み
- ・ ソフトとハードを分離するWhitebox向けネットワークOS「OcNOS®」の事業育成に注力



ipinfusion™
An ACCESS Company



IoT事業

- ・ IoTプロフェッショナルサービスを主軸に、中長期的には自社製品・サービスを育成
- ・ 技術/アーキテクチャ検討力を強みに、通信、クラウド、アプリ等をワンストップで提供可能

Webプラットフォーム事業

- ・ 15億台以上への搭載実績がありデファクトスタンダードの地位を確立している組み込みブラウザ「NetFront® Browser」シリーズを主軸に事業展開
- ・ TVと車載エンターテインメントが主な市場

Whitebox向けソリューションのリーディングカンパニーとして、ネットワークOS「OcNOS®」を提供し市場開拓に注力

Whiteboxとは

ソフトウェアとハードウェアが一体化された従来型のネットワークスイッチに対し、ソフトとハードが分離されたネットワークスイッチ

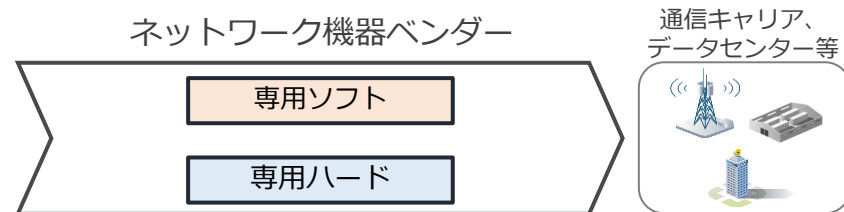


ユーザー（通信キャリアやデータセンター事業者等）へのWhiteboxの訴求点

コストの低減

運用における
自由度向上

従来型機器：専用ハードウェアと専用ソフトウェアをセットで提供

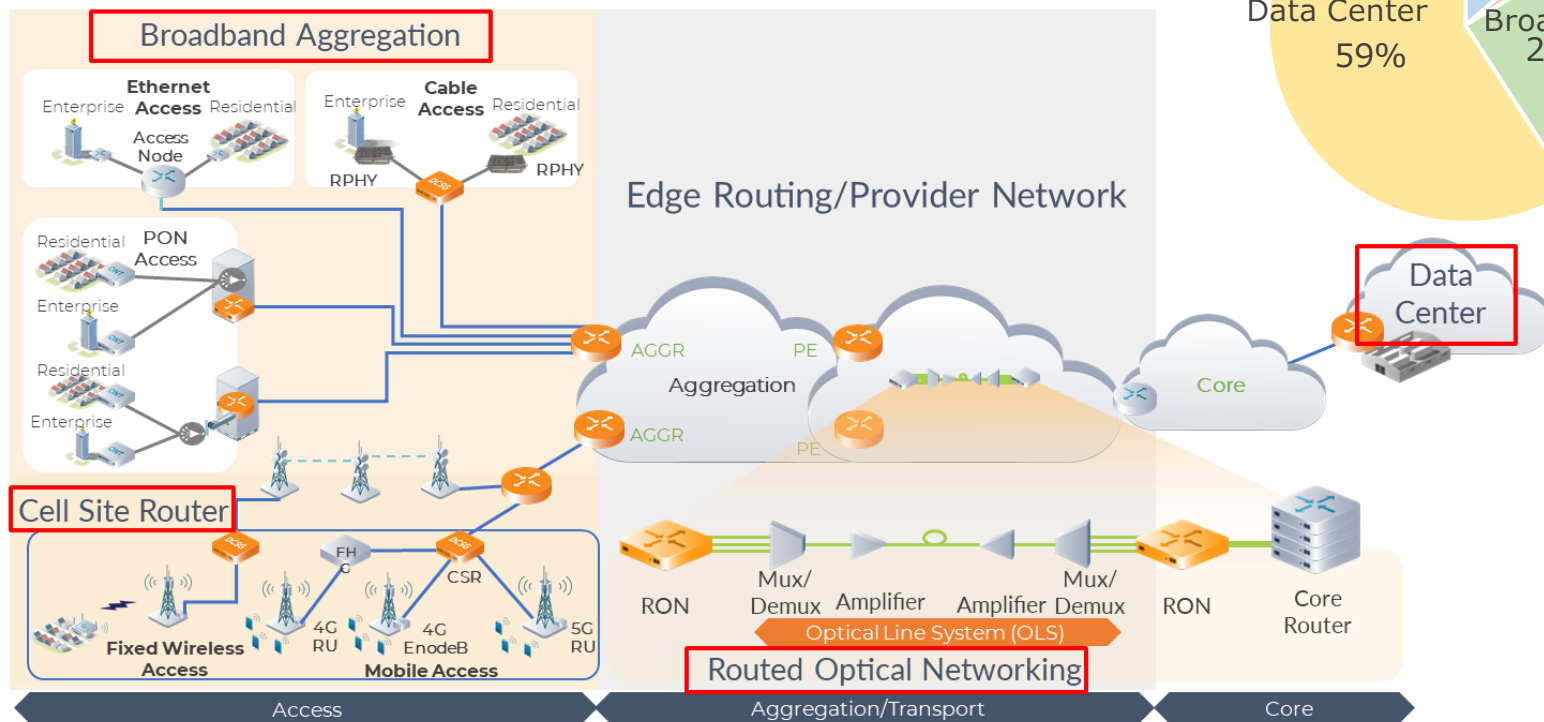
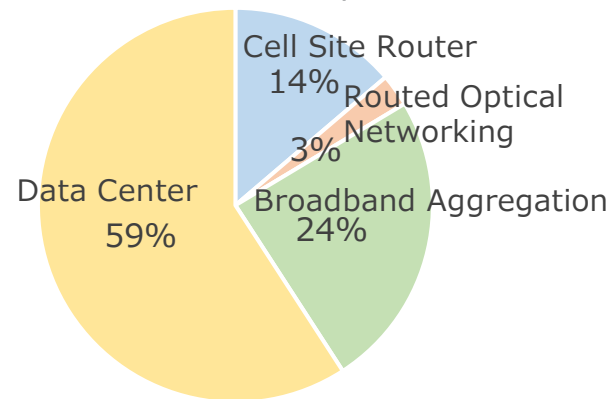


Whitebox型：汎用ハードウェアとソフトウェアを分離して提供



昨今のAI需要も踏まえ DataCenter向けの受注が増加

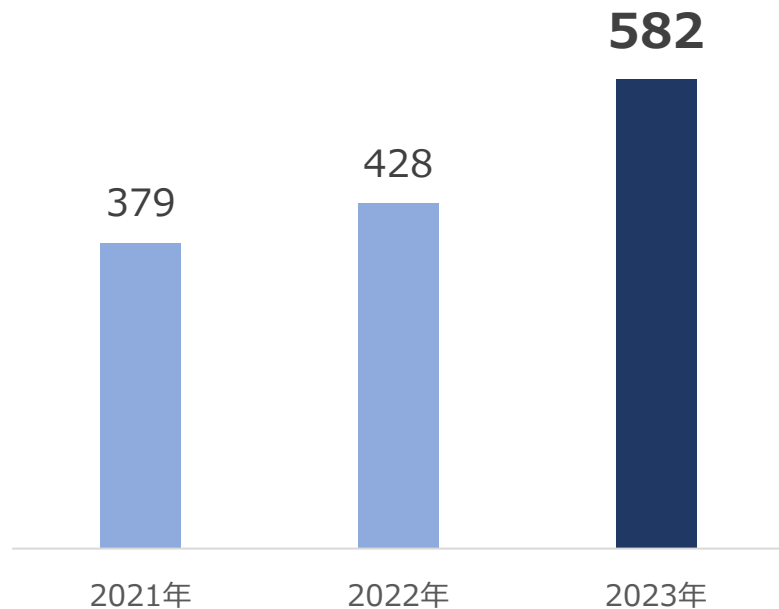
2024年1月期 受注*構成 (%) *複数年契約も含む



受注件数、受注額ともに前年より成長が加速

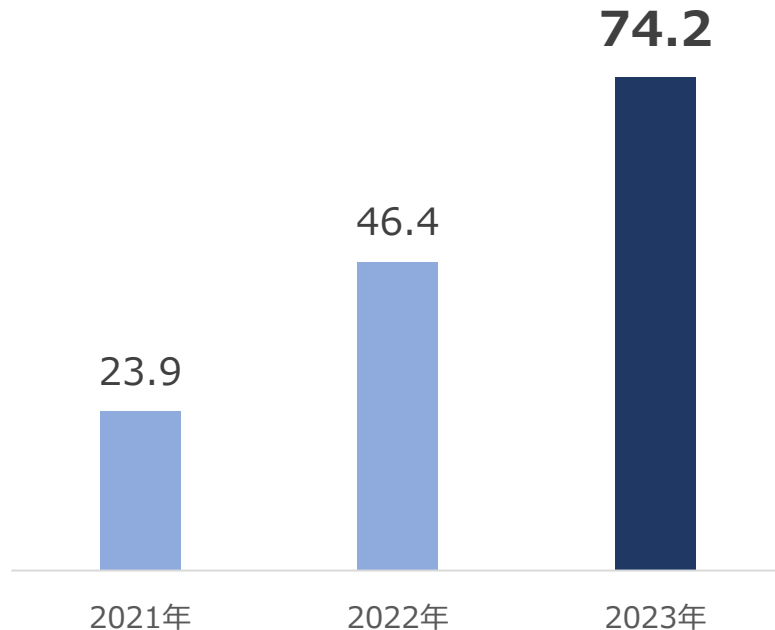
■ 受注件数（件）

年間の受注件数は**428**件⇒**582**件に増加



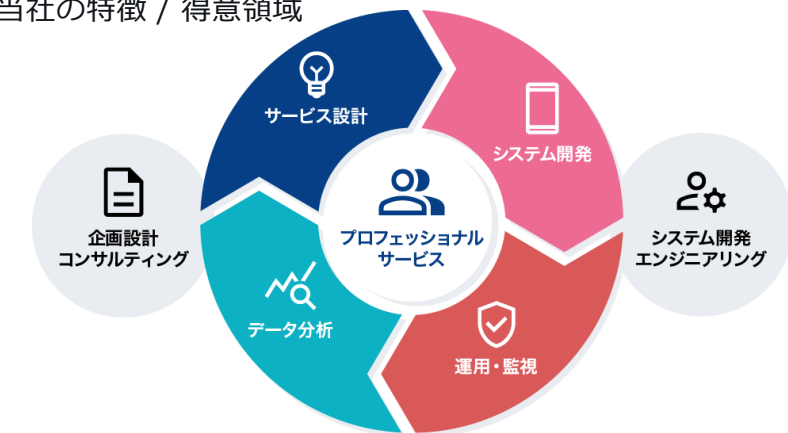
■ 受注額*（USD mil.） *複数年契約も含む

年間の受注額は**46.4**mil⇒**74.2**milへ**60%**増

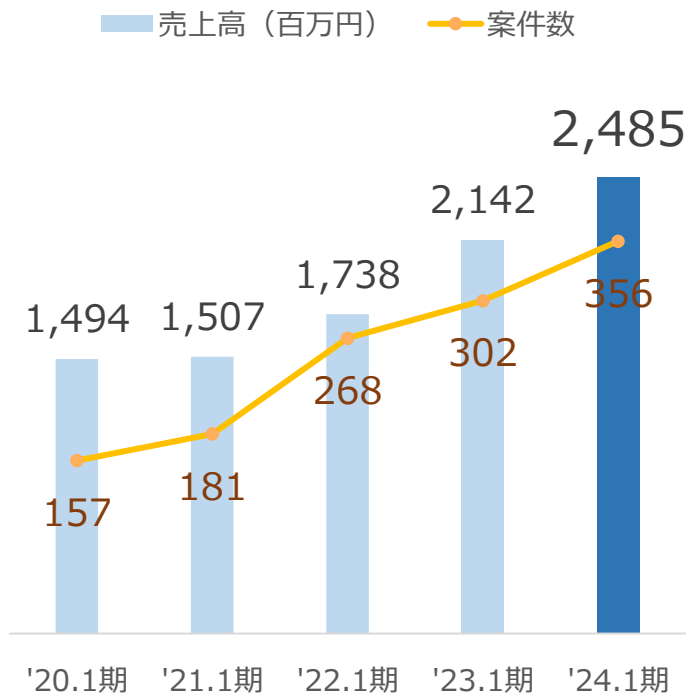


デバイスからクラウド、アプリまでをワンストップで提供できる 高付加価値なプロフェッショナルサービスを軸に事業拡大

当社の特徴 / 得意領域



IoTプロフェッショナルサービス実績推移



ブラウザコンポーネントの提供から 動画/コンテンツ配信プラットフォームへ事業拡大

ブラウザの提供実績



スマートTV



コネクテッドカー



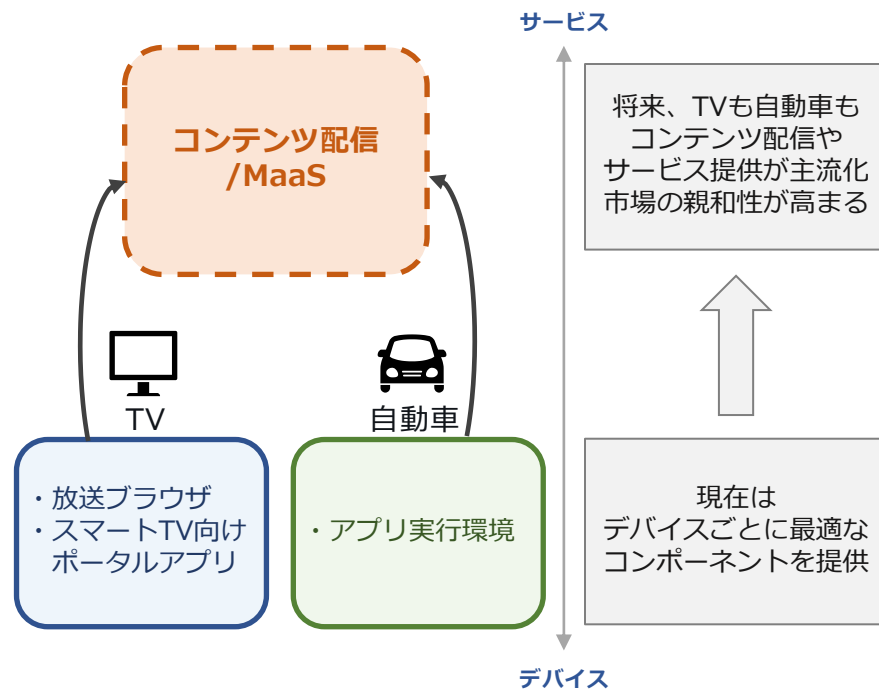
ゲーム機



産業機器

- 日本のTVの約8割になんらかのACCESS製品が搭載
- 車載は世界のトップ10メーカーのうち4社と取引実績

事業の展望



引き続き売上成長を維持し、5期ぶりに黒字化

(百万円)	2024年1月期	2025年1月期	前期比
売上高	16,573	18,500	+1,926 / +11.6%
営業利益	▲105	500	+605 / —
経常利益	▲12	450	+462 / —
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲280	210	+490 / —
EBITDA*	3,126	4,300	+1,173 / +37.5%






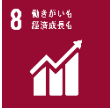


* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

04

Appendix

基本方針

「技術」「知恵」「創造性」と「勇気」で世界を革新し続ける独立系、企画・研究型企业というVision Statementのもと、IoT化を支える技術・製品を開発・提供し続けることにより社会の変革と新たな価値創造に貢献するとともに、ガラパゴス化に陥ることなくグローバルにスケールするビジネスモデルを構築し、企業価値の向上を目指してまいりました。引き続きこれらの実現に取り組むとともに、持続的な開発目標（SDGs）やESGを経営に取り入れ、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

分類	主な取り組み	関連SDGs/ESG
<p>【Environment】 当社は事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境の維持・保全を両立した「持続可能な社会の実現」に貢献するため、環境負荷の低減を含めた様々な社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減及び省エネルギーに向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TCFD提言に基づく気候関連情報開示（準備中） ・オフィスの環境負荷軽減 ・環境関連法規等の順守・教育の実施 <p>事業を通じた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビューフ技術によるペーパーレス化推進への貢献 ・エネルギー管理ソリューションの開発 ・データセンターへのWhiteboxソリューション導入推進や低消費電力スイッチ・ルーター等の開発 等 	  
<p>【Social】 当社の企業理念実現に向けた人材マネジメントの基本的な方針策定・知的財産に関する基本方針の策定</p>	<p>人的資本に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重 ・ダイバーシティの推進 ・人材育成、働きやすい環境づくり ・健康・安全への取り組み <p>知的財産に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産に関する管理・推進体制の構築 ・他社の知的財産の尊重 ・知的財産に関する継続的な教育 	   
<p>【Governance】 企業価値向上に向けたガバナンス強化・充実施策等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンス強化に向けた体制構築 ・定期的な取締役会実効性評価の実施 ・「公正性」「透明性」を確保した役員報酬の決定プロセス構築 ・コンプライアンス・リスク管理委員会による全社的なリスク把握とモニタリングの実施等による内部統制充実 ・各種通報窓口の整備 	

- 本資料に含まれる業績目標等、将来に関する記述については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものです。
- 将来に関する記述には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績は記載内容と異なる場合がございますので、本資料の記載内容に全面的に依拠して、投資等の判断を行うことは差し控えてください。

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。
- ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。
- IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。



ACCESSTM

The logo features the word "ACCESS" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "C" in the second "CC" is replaced by a large, blue, 3D-style sphere. Above the "E" and "S" are three smaller blue spheres of decreasing size, arranged in a diagonal line. A trademark symbol (TM) is positioned to the upper right of the final "S".